

第二回関東地区自然保護交流会 実施報告書

1. 実施事業の概要

事業名	社) 日本山岳協会 関東地区自然保護交流会
主催	社) 日本山岳協会 (担当: 自然保護委員会)
主管	神奈川県山岳連盟 自然保護委員会
開催目的	次の3点を図る: ①常任委員OBを含め関東地区の交流、②H25 総会開催についてキックオフ
開催日時	平成 25 年 12 月 22 日 (金) ~ 23 日 (土)
開催場所	神奈川県 清川村 清川リバーランドおよび煤ヶ谷水源林
募集対象	常任委員、関東ブロック山岳連盟所属の自然保護委員
参加数	29名(栃木 3、群馬 3、埼玉 8、千葉 1、東京 4、神奈川 8)

2. 実施内容

平成 25 年山岳自然保護の集中央大会(第 37 回自然保護委員総会)反省会、及び次年度開催予定の UAAA 創立 20 周年記念行事への参加に関する協議及び、神奈川県山岳連盟で行っている森林整備ボランティア活動の視察を兼ね、第二回自然保護交流会を実施した。22 日の午前中は希望者による煤ヶ谷水源林での森林活動体験を行い、午後遅くから清川リバーランドのバンガローで集いを、明けて 23 日には煤ヶ谷水源林をハイキングと神奈川県山岳連盟の活動フィールドを視察した。

石倉委員長の開会挨拶の中で、第 37 回自然保護委員総会が埼玉で開催され、台風通過と重なってエキスカージョンの予定を大幅変更したが、事故なく開催されたことに感謝の意を表した。また、開催に際し関東ブロック傘下の各団体の自然保護員から募った実行委員会スタッフにより運営されたことは意義が大きく、今後今回のような交流会を通して一層の絆を深めたいとした。また、次年度の自然保護委員会は広島県にて UAAA 創立 20 周年記念行事の一環として開催の方向であるが、一層の協力をお願いしたいとした。

第 37 回自然保護委員総会の反省の中で、2泊3日の盛り沢山のセッションをこなしたことに、スタッフの努力の賜である。会場も広く使え、地元芸能公演や3名の識者の講演、三課題の分科協議、集合セッション(各都府県活動報告)、モーニングウォーク、ナイトセッションなど、小川げんきプラザ施設を有効に使用した点は評価される。

23 日には煤ヶ谷水源林視察では、8ヘクタールほどの活動フィールドを視察。旧薪炭林であって、不良樹など除伐による整備を進めた活動の様子の説明を受けた。



バンガローに肩を寄せ合っでの交流



フィールドで活動の様子の説明を聞く